

県人教だよ

# ふれあい



発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）  
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内  
電話：0857(22)0578 FAX：0857(22)0593  
発行者 岡崎 周治

## 「第41回人権尊重社会を実現する

## 鳥取県研究集会」を終えて

鳥取県人権教育推進協議会 会長 岡崎 周治

8月5日（金）米子コンベンションセンター多目的ホールを主会場にして、鳥取県西部で開催した「第41回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を盛会裏に終えることができました。今回は、集会が1日開催となり3度目で、会場を中部→東部→西部と県下を一巡した大会でした。参加者にも1日開催が定着し、昨年度の課題を解決しながらスムーズに開催できました。そして、多くの県民が参加し、研究と実践の交流を深められたことと思います。

講演講師・演者、報告者の皆様、そして諸準備から事後の総括・記録までお世話になった役員の方々の皆様、後援団体・関係機関に改めて深甚なる感謝を申し上げます。

なお現在、県人教事務局では「記録集」刊行に向けて順次作業を進めているところです。



### ～報告～ 第41回人権尊重社会を実現する 鳥取県研究集会 <概要>

#### <大会参加者数>

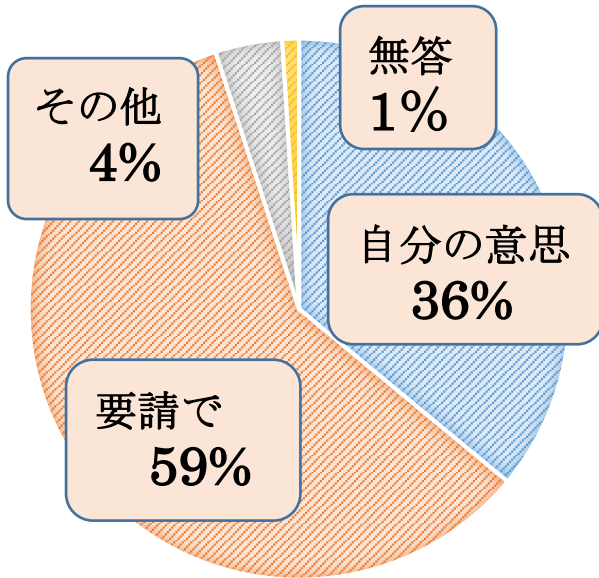
全体会参加者 1,680人 (1,662人) 来賓 19名 役員等 約250名  
分科会参加者 1,556人 (1,428人) ※参加券回収数。( )内は昨年度の参加者。

第1分科会 (人権文化社会の創造)		第3分科会 (共生社会の創造)	
1-1	1-2	3-1	3-2
311人	340人	316人	75人
第2分科会 (就学前・学校教育の創造)			第4分科会 (学習・入門講座)
2-1	2-2	2-3	
74人	112人	59人	181人

＜参加者アンケートより＞

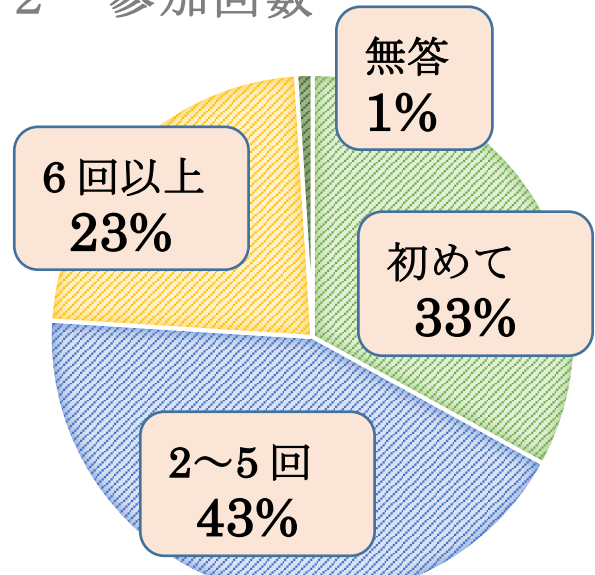
総回答者数 999人（回収率 59.5%）

1 参加について



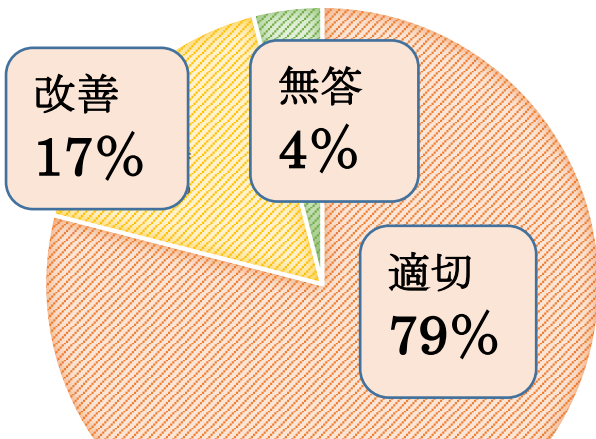
1 参加について、「自分の意思で参加した」が昨年より減り、「要請で」が増加している。

2 参加回数



2 参加回数は、「初めて」「2から5回」「6回以上」が、3対4対2の割合。「初めて」が昨年より増え、6回以上が減少傾向。

3 全体会の運営



3 「全体会の運営」については、8割程度が適切だと回答している。1日開催も3回目。中部→東部→西部と鳥取県内を一巡し、会場等の課題も明らかとなり、改善の余地はある

＜「全体会運営」の改善についての意見から＞

- ▲会場内が暗く、資料が読めず、来賓の顔も見えない。
    - ・花の位置で、講師の顔が見えない。
  - ▲時間が15分超過。昼食や午後の分科会があるので、時間どおり調整しながら運営を。
    - ・移動のため、食事ができていない人もあった。
  - 1日開催であっても、ポイントさえ押さえれば内容が濃いものになる。・この方向でさらに充実した会に。 ⇔ ・1日開催で内容が軽くなった。
- ※昨年出された「駐車場」「暑さ」「段取りの悪さ」等は開催地のご努力で改善され、意見はなかった。

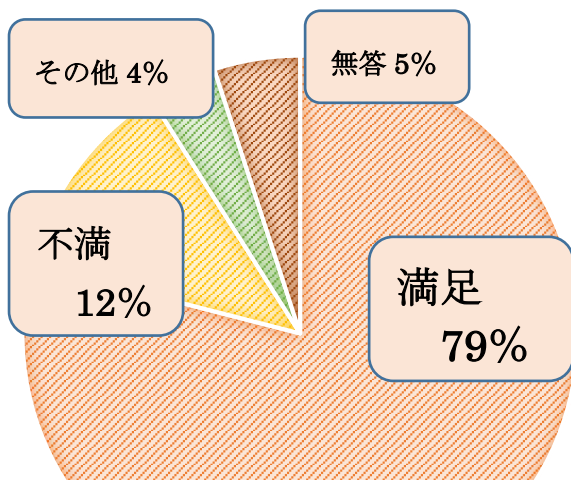
＜全体会の感想より＞

- ◎時間は短い、内容がよく整理され分かりやすい。
- ▲来賓紹介等開会行事は簡素化し、講演等の時間確保を。



◎講演・ミニライブについて ・自らの言葉で自らの体験を、周りとの関わりでお聞きすることができ、心に残るお話でした。 ・前向きさが伝わった。  
 ・飾らない口調に一生懸命さが伝わった。 ・若い二人の明るい展望がよかった。 ・学びの大切さ、感じることの大切さを思った。 ・ライブは新鮮でよかった。 ・刺激的で心が弾む。 ・アーティストとしてのクオリティの高さに感心。 ・演奏の操作がわかるよう、手元を映してほしかった。 ・ライブの音が大きい。

## 4 分科会の内容



4 「分科会の内容」については、8割程度が満足だと回答している。企業や人推協の取組が知りたいという思いが強く、大会目的の「研究と実践の交流」が薄れつつあり、会場からの意見が出にくい現状もある。

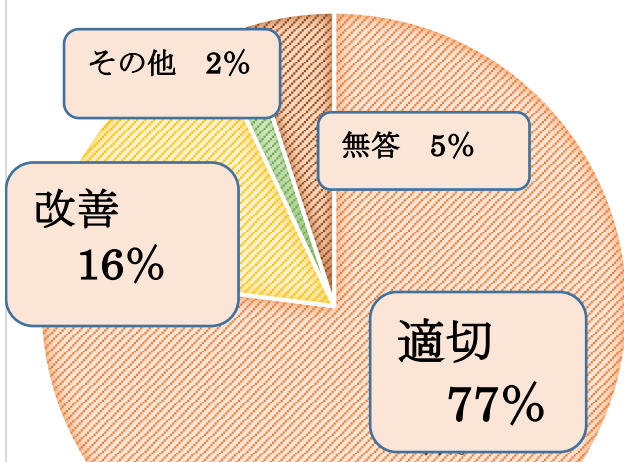


### <「分科会報告・討議内容」の意見から>

- ◎普段聞けない企業等の取組が聞けて大変参考になった。
- ◎報告者の本音と熱意を感じ、取組に感心した。
- ◎報告者の生き方、苦心や努力がとてもよく伝わってきた。
- ◎実践現場の方の話は説得力があり、とても興味深く、頼もしく感じた。時間の制約なしにお話を伺いたかった。
- 討議で、学校やクラスのことについて話したくても個人のプライバシーや学校のイメージにかかわると思うと話しづらかった。
- ▲報告内容が「討議の視点」に合っていたか。
  - ・人権とのつながりが明確に示されていない。人権問題解決のための集会であるという大前提を忘れないでほしい。



## 5 分科会の運営



5 「分科会の時間や運営」については、「改善が必要」が、昨年の12%から4%増加している。今年具体的な意見を参考にして改善していきたい。

### <「分科会の時間・運営について」の意見から>

- ▲会場が遠すぎる。シャトルバスは出せないか。
- ▲会場が狭く、入れない会場があった。
- ▲時間（報告時間、終了時刻等）を守ってほしい。
  - ・報告が長く、中身が全般に渡るので、ポイントを絞って報告してほしい。（推進委員も）
  - ・参加者でいろいろ討論できるのが分科会の良さ。
- ▲詳しい報告資料を配布してほしい。
  - ・パワーポイントの資料がほしい。
- ▲人数が多く、討議がうまくできない。
  - ・質疑応答に終始している。
- ⇔・隣の方と意見交換。小グループ。質問紙等
  - ・討議の柱を明確に示す。
- ▲司会者は、質問と意見を分けて運営してほしい。

## <その他 感想>

- 10年ぶりに参加しました。活発に意見が出てよかった。1年に1回でも、自分自身の実践を振り返ったりすることは大切です。ありがとうございました。
- 会に出るたびに振り返りができてよいと思います。
- 1日とても充実していた。人と人が話し合いながら、深い絆で結びあっていたい。自分の子どもたちにも、きちんと話をしながら、人のぬくもりを感じさせてやりたい。
- 最近学校やPTAの人権教育が停滞しています。同和教育が人権教育に替わって、危惧していたものが、現実になっています。「自分に何ができるか」をしっかりと見直していきたい。
- 子どもの人権について、専門的な話や今まで知らない機関の話が聞けて大変勉強になった。
- 初めての参加でしたが、とても実りのある会でした。今後は学校・家庭・地域で今日の話ができるよう頑張りたい。
- 日々の生活で、人間関係作り等思い悩むことばかり。もやもやしていることを報告者が言葉にしてくださり、何に困り、何がひっかかっていたのかが分かった。自分と向き合う時間となった。
- 報告者や大会運営に関わられた皆さん、大変ご苦労様でした。感謝です。ありがとうございました。

事務局:たくさんのご意見・ご要望をありがとうございました。  
来年度の集会に生かしたいと思います。



**来年の第42回研究集会は  
8月3日(木)倉吉未来中心で!!**

## さらなる実践交流の場へ

第9回中国ブロック人権・同和教育研究集会  
(山口大会)  
2016年10月8日(土)  
小郡ふれあいセンター  
<鳥取県報告者>  
米子市宇田川保育園  
井上道さん  
「きっと輝く瞬間をみつめて」

第68回全国人権・同和教育研究大会  
(大阪) ※開会全体会はありません。  
期日:2016年11月26日(土)~27日(日)  
☆県内報告者:大山町人・同推協 澤田真美さん  
部落解放同盟県連 大柄瑞穂さん  
☆全人教実践報告協力者:福原潤一さん(西伯小)  
尾坂紀生さん(倉吉総合産業高校)  
佐藤淳子さん(とっとり震災支援連絡協議会)  
※分散会で主に司会や総括をされます。

## ご報告

### 2016年度鳥取県人権 教育推進協議会役員の変更

- ・副会長 村上成人氏  
(部落解放同盟鳥取県連合会)
- ・理事 津川俊仁氏  
(部落解放同盟鳥取県連合会)

### 熊本県人教よりお礼の手紙

4月に起きました「熊本地震」に際し、全国各地から多くの温かいお言葉や義援金をいただき大変感謝しております。震災後5ヶ月を経過し、落ち着きを取り戻しつつありますが、被災地の子どもたちはまだ厳しい状況に置かれています。熊本県人教は一人ひとりの子どもにしっかりと向き合っていきたいと思っております。(後略)